

INTERNATIONAL CENTER

Newsletter Vol. 82



2-3月号



昨年9月、6名の工大生が3週間の英語研修に参加した。行先はカナダ最大の都市トロントにある、ハンバーカレッジ。参加した6名の一人、1年生の横島ほなみさんに、感想をつづってもらった。

カナダ語学研修を終えて


1年 横島 ほなみ
バイオ環境マテリアル系

私にとって今回の語学研修はとても有意義な経験でした。驚いたことや楽しかったこと、苦勞したこと…全てが新しい経験ばかりでとても濃厚な3週間でした。あまりにもあっという間に時間が過ぎ、日本に帰りたくないと思ってしまうほどでした。

カナダへ行って、私を待っていたのは英語しか使えない生活。ある程度の覚悟はしていたものの、実際にステイ先に着き、英語で会話をし始めると「本当にカナダに来たのか…」と痛感しました。何回も聞き返したり、上手く発音出来ずコミュニケーションを取るのに苦勞しましたが、ホストファミリーも同じ家にいた中国人留学生もとても良い人で、言葉に詰まると言いたいことを汲み取ってくれたりしてたくさん会話をすることが出来ました。学校では、同じレベルの人が自分よりも遥かに上手く英語を話していて焦りましたが、フレンドリーで優しい人ばかりで周りの人のように上手く話せなくても気兼ね無く話すことが出来ました。様々な国の人と同じ教室にいたので、文化の違いやカナダに来た目的などを話すことが楽しかったです。それぞれの国の文化について、日本ではなかなか知ることが出来ないような内容も聞くことが出来て良い体験だと思いました。何よりも授業や日常生活を通してリスニング力が大幅に伸びた感じがしました。日本で英語を地道に勉強するよりも、留学して英語しか使えない環境で生活した方が実践的な英語を学べるということを経験した気がしました。

カナダでの生活は新しいことだらけでした。何よりもトイレと風呂場と洗面所が1つの空間にあるということが新しい感覚でした。毎朝ホストファミリーと中国人留学生と私の使用時間が被り、なかなか洗面所を使えなく不便に感じました。移動面ではバスの降車ボタンが電線のような紐をひっぱるという日本には無いスタイルで、最初乗った時に本当に引っ張っていいのかわかりませんでした。バスが時刻表の時刻通りに来なくて何分も待たなければならないことも多々有り驚きました。日本とは違い、食べ歩き、飲み歩きをしている人が多かったことも印象的です。他に、食べ物を買うときに値段が高いと感じることがたくさんありました。飲み物も高く、喉が渇いてもなかなか水分を買う気になれませんでした。スーパーに行くと安い物もあったのですが、まとめ買い向けだったので買えませんでした。それと同時にカナダ人の食品を買う量にも驚きました。日本ではなかなか見られない量に嘖然としました。





今回の語学研修中に何度も自分の将来について考えることがありました。同じクラスに自分のやりたいことを大学で学ぶためにイングリッシュランゲージセンターに来ているという人が多く、そのような自分の目標を追いかけている人を見ていると「自分の目標って何だっけ?」「本当にやりたいことって何だろう?」と考えさせられました。大学に入ってから半年、自分の目標を具体的に作らずに勉強もせずにだらだらと過ごしてしまった自分に苛立ったのと、これから卒業までにいかに充実させるか、卒業してからのどうしたいのか、などと自分の将来について真剣に考えました。カナダへ行かなければこのようなことも考えずに卒業までだらけた生活を送ってしまっていたと思います。カナダでの3週間で得た貴重な経験や行動力、度胸を元に今自分がやるべき課題や定めた目標を達成していきたいと思います。カナダで交流した人たちは皆いかに自分らしく人生を充実させるかをしっかり考えている人達ばかりだった感じがしました。私にはそのような人達がとても輝いて見えました。

たくさんの人と関わったスクールライフも、放課後色々な方向を散策したことも、ナイアガラやCNタワーやMLBを観戦したことも、ホームステイをしたことも、どれも貴重な体験だったと思います。もし機会があればまた参加したいと思いました。3週間はあっという間だったので、ワーキングホリデーのように1年間留学も良いかなとも考えました。留学は1度行くとまた行きたくなるという話を聞いたことがあります、まさしくその通りだと納得しました。もし、また行くことが出来るならもっと英語力を身につけてから行きたいと思います。今回参加することが出来て本当に良かったです。とても充実した3週間を送ることが出来ました。



インターナショナル“C”アワー

1月28日(金)@インターナショナルラウンジ

1月のインターナショナル“C”アワーでは、2年ぶりで餅つきを行った。準備に当たってくれたのは国際交流推進サークルOFICのメンバー。市民の方がボランティアで、慣れた手つきで餅を返してくださる傍ら、多数の留学生がおっかなびっくり杵を振りおろし、交代で餅つきを体験した。ついた餅は皆でちぎってあんこ・きなこ・黒ゴマにそれぞれからめ、少々遅れた新年のあいさつで乾杯した後皆で食べた。

インドネシアからの博士後期学生、ロシャディ・マルワンさんも、始めて杵を手にした一人。「餅をつくると、ストレスが消えますね。怒っている時にするといいでしょう。いっぱい研究をして頭がごちゃごちゃでしたが、リフレッシュできました」と笑顔で語っていた。



国際交流の集い

2月22日(火)@まちきた大通りビル5階

2月のインターナショナル“C”アワーは、北見市役所市民活動課国際交流担当との共催で、「Kitami 国際交流の集い」と題してまちきた大通ビルで行った。インターナショナル“C”アワーを学外で開催するのは今回が初めて。会はずJICA青年海外協力隊でガーナとホンジュラスで働き、昨年帰国したばかりの二名がそれぞれの体験を語ってくれた。続いて、今年度を持って退職する本学の山岸国際交流センター長が講演した。「異文化交流ウラ話」と銘打ったこの講演は、アジアのトイレ事情に始まって、これまでの海外協力やJICA受け入れのエピソード、留学生との思い出が語られ、スライドショーで締めくくられた。

イベントの後半は交流会。山岸センター長の北海道社会貢献賞受賞の花束贈呈があり、乾杯の後なごやかな歓談の時間が持たれた。この間、会場を大いに盛り上げてくれたのが、本学のマレーシア人留学生によるバンド演奏、留学生と日本人による多国籍グループによるダンス、新疆ウイグル自治区からの留学生による民族ダンス、そしてモンゴル蛇三線奏者コロロン・コウワさんと和太鼓奏者のYasukeさんによるジョイントライブ。それぞれの個性を生かしたバラエティ豊かなパフォーマンスに、会場に集っていた200人の観衆からはフラッシュの嵐、盛んな歓声と拍手が起こっていた。

短期留学生修了式

2月8日(火) 17:00 - 18:30@総合研究棟6階ミーティングルーム

2月8日、この3月をもって帰国する短期留学生16名の修了式を執り行った。出席者は16名全員と、山岸センター長、村井副課長、鈴木講師、荒谷講師、そして1月末で退職した非常勤職員の中山さんの21名。山岸センター長より一人一人に修了証書が授与され、センター長の告辞、教職員からの祝辞に続いて学生を代表し、台湾からの留学生、林珮儀さんが答辞を読み上げた。1年間ですっかり上達した日本語で、渡日前の不安や来てからのいろいろな経験や思いが語られ、皆うなずきながら聞き入っていた。次に、輪になってしばし留学中の思い出を振り返る黙想の時を持つと、静かな音楽に混ざってすすり泣く声が聞こえ始め、その音が次第に大きく……。その後の分かち合いでは、「友達がたくさんできて嬉しい、ずっと大事にしていきたい」「かけがえのない思い出がたくさんできた」「北見が第二の故郷になった」「留学してよかった、考えが変わった」「自分の成長に絶対に必要なワンステップだった」などとの声がきかれた。最後は鈴木講師作成の、今までのイベントの一こま一こまを振り返るスライドショーが上映され、修了式は幕を閉じた。



留学生研修旅行

2月20-21日(日)@紋別市民会館、紋別市文化会館

2011年2月20・21日に催された留学生研修旅行に、留学生28名が参加した。行先は昨年に引き続き紋別市。20日は北方圏国際シンポジウム「オホーツクと流氷」の開会式に出席し、医療工学専攻D1年の白玉廷さんが留学生の代表として挨拶した。21日は大学院の学生3名がシンポジウムで発表を行い、その他の学生は施設見学に出かけた。施設見学では、流氷科学センターやオホーツクタワーを訪れ、流氷砕氷船「ガリンコ号II」にも乗船した。残念ながら、流氷を見ることはできなかったが、マイナス20度の厳寒体験室や海の生物の展示、アザラシの餌やり等を体験・見学し、オホーツク地方の自然や暮らしについて学びを深めた。

参加した学生の一人、ガンボルト・ムングンエルデネさんは、「海を見たのも、船に乗ったのも生まれて初めて」と感動を言葉で表わしきれない様子。アザラシを撫でることもでき、「トレーナーの指示に従って寝たりバイバイしたりするのがとてもかわいかった」と話していた。



退職のご挨拶

国際交流の仕事をして15年間続けて来ましたが、ついに退職となります。今では多くの私費留学生も増え、協定大学も20校になりました。北見工業大学を修了または卒業した留学は世界各地で活躍しています。このことが私の在職中の最高の喜びです。世界は経済上で国境がなくなりつつありますが、心の国際化はまだだと思っています。皆さんの北見工業大学での貴重な経験は、この後の人生で大きな力になると信じています。私も留学生と楽しく交流できたことが、心の財産です。皆さんの活躍を楽しみにしています。



国際交流センター長

山岸 喬

留学生交流の夕べ

3月9日(水)@本学アトリウム

国際交流センター最大の行事である「留学生交流の夕べ」が今年も本学アトリウムで開催され、学内外から約100名が集って、留学生の卒業・修了を祝った。今年の卒業・修了生はご覧の9名。博士後期課程を修了した2名を除く7名のうち、半数を超える5名が、引き続き本学の博士前期・後期課程に進学予定であり、本学にとっては嬉しい限りである。会は鮎田学長のあいさつに始まり、修了生を代表して博士後期課程を修了した陳海華さんによるスピーチ、引き続き山岸国際交流センター長による修了生の紹介と記念品の贈呈が行われた。

その後の祝賀パーティでは、卒業・留学生のそれぞれの思い出がスライドショーで紹介された。続いて、留学生の白玉延さんと張慶琨さんによる歌、日本人学生4名によるポップダンス、市民の方々による日本のメロディーの合唱が披露されて、会場がなごやかな雰囲気につつまれた。最後のアイヌル・アブリズさんによるウイグルダンスでは、多数の飛び入り参加者があり、お祝いムードが一挙に高揚。最後は今年度を持って退職する山岸センター長にまつわるエピソードを写真で追ったスライドショーと花束贈呈をもって、今年度最後のイベントは幕を閉じた。



< 卒業・修了おめでとう >

工学部卒業

李 継鵬 (リ ケイホウ)
 符 豪傑 (フ ゴウケツ)
 于 朋鑫 (ウ ホウシン)
 リディアナ ビンティ ロスラン

大学院博士前期課程修了

吳 珺瑤 (ゴ カククン)
 刘 俊俏 (リュウ ジュンチャオ)
 李 慶武 (イ キョンム)

大学院博士後期課程修了

陳 海華 (チン カイカ)
 アビール サード



◎新学期の予定◎

April	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23

- 4/5 13:30 チューターガイダンス@A208
- 4/6 入学式
- 4/8 授業開始
- 4/11 16:20 短期交換留学生オリエンテーション@A209
- 4/14 16:20 正規留学生オリエンテーション@A209
- 4/21 16:30 インターナショナルCアワー @3階ミーティングルーム